



RPCA®

RPCA 製品審査基準 適合証明書

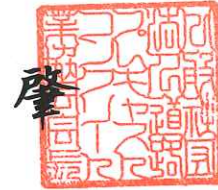
証明書番号 I 2 5 - R B 2 2 号

共和コンクリート工業株式会社 殿

貴社の「美山S」は、当協会道路プレキャストコンクリート工技術審査委員会における審査の結果、下記のとおりRPCA製品審査基準に適合したことを証明します。

一般社団法人 道路プレキャストコンクリート業協会

会 長 棚橋



記

1. 基本事項

製品名：美山S

製品区分：I群製品

ブロック積擁壁（控え 35cm の大型ブロック積）

証明書有効期間：2026年4月1日～2029年3月31日

2.申請区分

品区分		申請区分	
製品区分	I 群	重要度	重要度2
大分類	擁壁工	要求性能;常時	性能1
中分類	ブロック積擁壁	要求性能;地震時	みなし規定:L1=性能2、L2=性能3
小分類	控え35cmの大型ブロック積	規格の範囲	直高= mm~7000mm
申請区分	製I-擁壁-2	設置環境・条件	一般環境

3.製品審査結果

審査項目及び審査基準				判定	摘要条件	
中項目	小項目		審査基準			
荷重	自重	単位体積重量	無筋コンクリート 実際の単位重量であること。	clear		
			裏込め土 「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)	clear		
	土圧	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)	clear			
	載荷重	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)	clear			
荷重の組合せ	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)		clear			
材料及び設計 諸定数	積ブロック	JIS A 5371に適合していること。		clear		
	コンクリート	設計基準強度	製品; $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ 以上であること。 胴込め; $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 以上であること。	clear		
		裏込め土	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)		clear	
	土の単位体積重量 γ	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)		clear		
	内部摩擦角 ϕ 、土質	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)		clear		
	基礎地盤の土質定数	擁壁底面と地盤との摩擦係数 μ	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)		clear	
		基礎地盤の許容支持力度	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)		clear	
許容応力度	積ブロック	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は〔道路PCa工指針〕によること。	clear		
		コンクリートの許容せん断応力度	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は〔道路PCa工指針〕によること。	clear		
	胴込め、裏込めコンクリート部 (無筋)	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)		clear	
		コンクリートの許容曲げ引張応力度	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)		clear	
		コンクリートの許容せん断応力度	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)		clear	
安定性の照査	滑動	安全率	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 鉛直地盤反力度が許容鉛直支持力度以下であること。	clear		
	転倒	合力の作用位置	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 鉛直地盤反力度が許容鉛直支持力度以下であること。	clear		
	支持力	許容支持力度	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 鉛直地盤反力度が許容鉛直支持力度以下であること。	clear		
部材の安全性の 照査	解析方法		「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)	clear		
	擁壁本体	曲げ応力度	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)	clear		
		せん断応力度	「経験に基づく設計法」のため合格とみなす。 〔道路土工擁壁工指針〕および〔道路PCa工指針〕の表5-3)	clear		
	構造耐力	積ブロック	曲げ応力度	コンクリート打設時及び施工時の外力に対して構造的に問題がないこと。 JISの場合は合格とみなす。	clear	
せん断応力度		コンクリート打設時及び施工時の外力に対して構造的に問題がないこと。 JISの場合は合格とみなす。	clear			
構造細目	水抜き孔の径、配置状況		擁壁に2~3mに1カ所の割合で内径5~10cm程度水抜き穴を設置していること。	clear		
その他の仕様	擁壁の根入れ	根入れDf	基礎上面から50cm以上確保されていること。	clear		
	基礎コンクリート	設計基準強度	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は設計・施工要領等に仕様の記述があること。 〔道路PCa工指針〕第4編 擁壁工編 [53] 7.1 PCaブロック積擁壁の特徴と適用範囲及び[55] 7.2 設計方法、[56] 7.2.2 PCaブロック積擁壁の配置上の留意点及び[54]表7.1-1)	clear		
		厚さ	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は設計・施工要領等に仕様の記述があること。 〔道路PCa工指針〕第4編 擁壁工編 [53] 7.1 PCaブロック積擁壁の特徴と適用範囲及び[55] 7.2 設計方法、[56] 7.2.2 PCaブロック積擁壁の配置上の留意点及び[54]表7.1-1)	clear		
	基礎材	使用材料	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は設計・施工要領等に仕様の記述があること。 〔道路PCa工指針〕第4編 擁壁工編 [53] 7.1 PCaブロック積擁壁の特徴と適用範囲及び[55] 7.2 設計方法、[56] 7.2.2 PCaブロック積擁壁の配置上の留意点及び[54]表7.1-1)	clear		
		厚さ	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は設計・施工要領等に仕様の記述があること。 〔道路PCa工指針〕第4編 擁壁工編 [53] 7.1 PCaブロック積擁壁の特徴と適用範囲及び[55] 7.2 設計方法、[56] 7.2.2 PCaブロック積擁壁の配置上の留意点及び[54]表7.1-1)	clear		
排水工	排水工の形状		〔道路PCa工指針〕第4編 擁壁工編 [28] 4.7排水工	clear		

3.製品審査結果

中項目	審査項目及び審査基準		判定	摘要条件	
	小項目	審査基準			
施工	施工マニュアル	施工の手順	施工マニュアル等に記述があること。 (「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57] 7.3 施工方法と施工上の留意点)	clear	
		施工上の留意点	施工マニュアル等に記述があること。 (「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57] 7.3 施工方法と施工上の留意点)	clear	
		施工上の適用条件	施工マニュアル等に記述があること。 (「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57] 7.3 施工方法と施工上の留意点)	clear	
製品の品質	外観	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。(「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57] 第3編 製造編 [20] 第3章 検査)	clear	
	形状寸法	検査頻度・方法、測定箇所、形状寸法及び寸法許容差、判定基準、不合格の処置	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。(「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57] 第3編 製造編 [20] 第3章 検査)	clear	
	コンクリートの圧縮強度	試験頻度・方法、判定基準、不合格の処置	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。(「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57] 第3編 製造編 [20] 第3章 検査)	clear	
材料の品質	品質	使用する材料の品質	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57] 第3編 製造編 [6] 第2章 道路PCa製品の製造 2.3 材料の受入と貯蔵)	clear	
	受入検査	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57] 第3編 製造編 [6] 第2章 道路PCa製品の製造 2.3 材料の受入と貯蔵)	clear	
	貯蔵	貯蔵の管理方法	JISの場合は合格とみなす。 それ以外は製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (「道路PCa工指針」第4編 擁壁工編 [57] 第3編 製造編 [6] 第2章 道路PCa製品の製造 2.3 材料の受入と貯蔵)	clear	

審査委員会
委員長

